

概要と課題

江坂公園は、江坂駅に近く、商業・業務施設が集積する江坂地域の中心に立地しています。平成8年(1996年)の全面リニューアルにより、江坂図書館や江坂花とみどりの情報センターが入る複合施設が建設されたことで、通常の公園利用だけでなく、様々な行政サービスの提供と緑化の啓発に役立てられてきました。主に周辺のオフィスで働く人や専門学生、子ども・子育て世代の住民に利用されており、まちなかにありながら緑と水にふれあうことのできる“都会のオアシス”として親しまれています。

<公園概要>

種 別：近隣公園
所 在 地：江坂町1丁目19番
面 積：23,000㎡
開設年月日：昭和44年(1969年)
平成8年(1996年)に再整備
そ の 他：一時避難地指定



<課題>

① 江坂図書館の書架・閲覧スペースの狭隘

江坂図書館は閲覧室が狭く、地域図書館6館の中で蔵書冊数が最も少ないにも関わらず、利用者数は3番目に多く、利用の実績に対して書架及び閲覧スペースが不足しています。

③ 公園施設の老朽化への対応

公園の全面リニューアルから24年が経過しており、施設の老朽化が進んでいます。特に木製遊具は早急な修繕又は撤去・新設が必要です。

② 江坂花とみどりの情報センター跡の活用

江坂花とみどりの情報センターは、令和3年(2021年)4月1日に千里花とみどりの情報センターに統合され、機能廃止後の跡地を有効活用していく必要があります。

① 江坂公園駐車場跡の活用

江坂公園駐車場は、公営駐車場としての役割を終えたため、平成28年(2016年)3月に廃止しましたが、今後の施設の活用方策が見出されていません。

魅力向上に向けた理念

URBAN OASIS

～「子育て×学び×ビジネス×アート」 江坂発 みどりのsuitable life～

目標像(パークビジョン)

緑豊かでうるおいのある 都市生活を実現！

- 桜、ポプラ並木、草花等で四季折々に彩られた緑と水にふれあえる空間を創出し、適切に維持管理します。
- 公園をグリーンインフラとして活用し、暑熱環境の改善や市民の健康増進等に役立ちます。

個性と活力のある 都市づくりを実現！

- 江坂図書館は、図書の充実を図るとともに、飲食可能な居心地の良い閲覧空間を創出し、学びと憩いの場として新生します。
- 都会的なデザインの採用や、周辺のアート資源との相乗効果を図り、公園をセンスアップします。

つながりを実感できる 暮らしを実現！

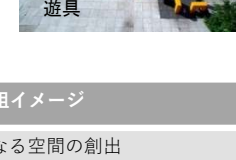
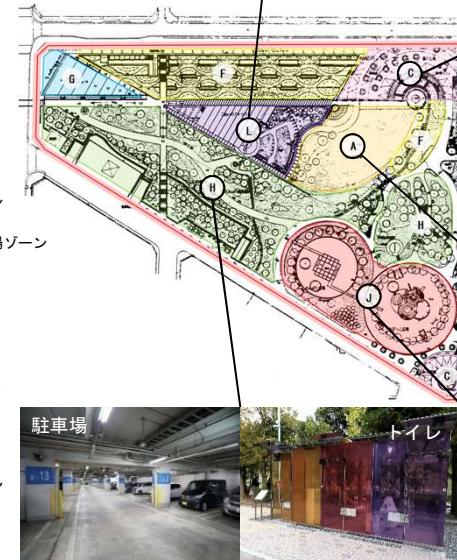
- 新たな地域の賑わいと交流の拠点を創出します。
- イベント開催や協議会運営等により、市民・事業者・行政の交流を促進します。
- 地域に応じた柔軟な公園利用、多様なサービス提供、積極的な市民・CSR活動等が行われる仕組みをつくります。

魅力向上イメージ



凡例

- A 多目的広場ゾーン
- C エントランス広場ゾーン
- F 修景・観賞ゾーン
- G 水辺・親水ゾーン
- H 休息・散策ゾーン
- J 遊戯広場ゾーン
- L 展示・学習ゾーン



※写真の施設、取組、ゾーン等はイメージであり、決定した事業計画ではありません。
また、ゾーンの全範囲で展開するものではありません。

ゾーン別運営方針

ゾーン名	方向性	取組イメージ
A:多目的広場	多世代の市民が様々な活動できる広場ゾーン	・集いや憩いの場となる空間の創出 ・利便を向上する売店や飲食店等の整備 ・参加体験型プログラムの提供とイベントの開催
C:エントランス広場	開放的で市民の交流の場となる広場ゾーン	・市民のチャレンジショップの開催拠点としての活用
F:修景・観賞	季節の花や豊かな緑があり都心の憩いとなるゾーン	・年間を通した四季折々の草花を楽しめるテラスの復元
G:水辺・親水	うるおいのある都市の風景があり公園のシンボルとなるゾーン	・うるおいと癒しが感じられる空間の創出
H:休息・散策	都会の喧騒を忘れ、緑豊かな景色を楽しめる憩いゾーン	・便所や休憩所等の更新 ・緑に包まれた憩いの空間の創出
J:遊戯広場	子どもが安全に遊ぶことができるにぎわいゾーン	・遊具の更新 ・子どもにとって魅力的な空間の維持
L:展示・学習	曜日・時間帯で異なる利用者層・利用方法に対応する、図書館・休憩・交流機能を核とする都市機能ゾーン	・図書館のスペース拡張とサービス向上 ・子育てや変化するワークスタイルを支援する場の提供